

1) チームでの提案内容

- ① チーム名「生きる力」
- ② 身につけさせたい力→折れない心、打たれ強さ、コミュニケーション力、他者への配慮
『社会で生きていく力』（自分の力で納税できる大人になる！）

③

	教えること	}	日常の生活の中で一つひとつ取り組んでいく。
小学校	生活習慣のしつけ 規律・規範意識 コミュニケーションの方法の指導と多様な経験を積ませる ※毎日の学習・生活を中心に		
中学校 高校	小学校で学習・経験したことの実践・応用 ※学校行事・部活動を活用して		

- ④ ③の内容は、現状でも取り組んでいるが「家庭でのコミュニケーション不足」「地域とのかかわりの減少」などで、「足りない・・・」「教員だけでは限界もある・・・」というのが実情である。
そこで→「学校と保護者・地域をつなぐ役割」が必要だと考えた。
※システム 『スクールソーシャルワーカー』
『地域の人に学校に入ってもらおう』
(他者の目、色々な人の目、保護者より上の人の目で見守っていく。)
- ⑤ すぐに、できることとして
今回、話した内容やワークショップに取り組んだ先生方がたくさんいることを子どもたちや職場の先生方にも広めることで、意識を共有したり、高めたりする。

2) 発表をしたり、聞いたりした後の気付き

- ・「社会に出たときに、しっかり生きていける力」を身に付けさせたいという点はどのチームも一致していたと思った。
- ・「コミュニケーション力」は、どのチームからも聞かれた言葉だった。自分の思いを表現したり、相手の気持ちを汲み取ったりすることが一つのゴールなのかと感じた。そのためには、小さいころから、まず「よく聞く」「きちんと話す」という指導が必要なのではないかという意見があった。
- ・発表を聞いていると、どの先生方も一生懸命なのはよく伝わってきた。「これでも、足りないのか・・・」という感じがする。時代の変化などの要素も大きくかかわっているから、多くの人の目で見たり、外部の人材の活用をしたりすることも大切になってくると思った。

3) 感想

先生方が高い意識をもって取り組んでいらっしゃる事がよく伝わってきました。また、校種や経験年数・今の立場を超えて、志を同じにしているんだということが改めて分かりました。

「これでも、足りないのか・・・」というのが本音です。家庭生活の変化など様々な要因があると思います。しかし、教師としては、まず、目の前の子どもたちをよい方向に導くことに力を注がなくてはなりません。今回の会を通して、考えたことや感じたことをいつも意識して毎日を送れたらと思います。